

## I 第46週の発生動向 (2014/11/10~11/16)

1. インフルエンザについては、患者報告数は1人で、迅速診断キットによる型別はB型でした。
2. 咽頭結膜熱については、弘前保健所管内で前週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が前週の113人から157人に増加しました。
4. 水痘については、むつ保健所管内で前週から**警報**が継続しています。

## II 第46週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上 十 三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	(90)	インフルエンザ	1	0.1									1	0.0	1				1	0.1
小児科	(79)	RSウイルス感染症	5	0.6	5	0.6	7	0.7	1	0.2	7	1.2	1	0.3	26	0.6	-10		5	0.6
	(80)	咽頭結膜熱	2	0.3	30	3.3					1	0.2	1	0.3	34	0.8	-10		2	0.3
	(81)	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	7	0.9	8	0.9	9	0.9			5	0.8			29	0.7	4		7	0.9
	(82)	感染性胃腸炎	75	9.4	13	1.4	40	4.0	7	1.4	9	1.5	13	3.3	157	3.7	44		75	9.4
	(83)	水痘	4	0.5	6	0.7	5	0.5	2	0.4	11	1.8	24	6.0	52	1.2	-15		4	0.5
	(84)	手足口病	4	0.5											4	0.1	1		4	0.5
	(85)	伝染性紅斑			4	0.4	13	1.3			2	0.3			19	0.5	4			
	(86)	突発性発しん	2	0.3	2	0.2	7	0.7			8	1.3	2	0.5	21	0.5	5		2	0.3
	(87)	百日咳															0			
	(88)	ヘルパンギーナ			1	0.1									1	0.0	0			
眼科	(91)	急性出血性結膜炎															0			
	(92)	流行性角結膜炎			1	0.3								1	0.1	0				
基幹	(97)	クラミジア肺炎															-1			
	(98)	細菌性髄膜炎															0			
	(100)	マイコプラズマ肺炎					1	1.0					5	5.0	6	1.0	3			
	(101)	無菌性髄膜炎															-1			
	(82)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)															-1			

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市1人、弘前1人 (2014年計:334人)
- ・つつが虫病(三類全数把握疾患): 東地方+青森市1人 (2014年計:12人)

## IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

## 感染症の窓

### 後天性免疫不全症候群 (五類全数把握疾患)

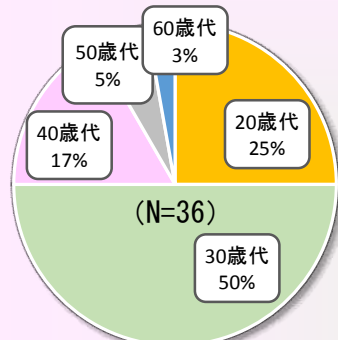


図1 年齢別県内のHIV感染者・AIDS患者報告数割合 (2006~2013年の合計)

12月1日は「世界エイズデー」



世界エイズデー (World AIDS Day: 12月1日) は、世界レベルでのエイズのまん延防止、エイズ患者・HIV感染者に対する差別・偏見の解消を目的とし、1988年にWHO (世界保健機関) が制定したもので、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

後天性免疫不全症候群 (acquired immunodeficiency syndrome: AIDS) は、性的接触等によりヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus: HIV) に感染することで免疫不全が生じ、日和見感染症や悪性腫瘍が合併した状態をいい、五類全数把握疾患に分類されています。

全国的には、ここ数年、新規 HIV 感染者 (無症候性キャリア) と新規 AIDS 患者を合わせて年間約 1,500 件の報告があり、横ばい傾向のまま高止まりしています。

本県においては、平成 18 年以降、年間 2~7 名の報告数で推移しており、いずれも男性でした。年齢別では 20~40 歳代がほとんどを占めています (図 1)。今年も 4 名の届出があり (H26.11.20 現在)、診断時の年齢は 30 歳代から 50 歳代でいずれも男性です。

AIDS は、発症前治療の開始が重要であることから、HIV 感染者となっても検査を受け、早期に治療を始めることで AIDS の発症を防ぐことができます。

県内各保健所ではエイズに関する相談・検査を受け付けており、検査については匿名・無料で受けることができます。詳細については、下記サイトをご覧ください。

『STOP AIDS』 [http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/top\\_aids.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/top_aids.html)



V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第30週～第46週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	後天性免疫不全症候群1人 梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症2人	
32	H26.8.4 ~ H26.8.10	A型肝炎1人 レジオネラ症1人					
33	H26.8.11 ~ H26.8.17	腸管出血性大腸菌感染症4人					
34	H26.8.18 ~ H26.8.24			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人	
35	H26.8.25 ~ H26.8.31						
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	デング熱1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14					腸管出血性大腸菌感染症1人	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21						
39	H26.9.22 ~ H26.9.28					腸管出血性大腸菌感染症1人	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5		レプトスピラ症1人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
41	H26.10.6 ~ H26.10.12			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 つつが虫病1人			
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人 ジアルジア症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26		急性脳炎1人				
44	H26.10.27 ~ H26.11.2					クリプトスポリジウム症10人	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9		急性脳炎1人				腸管出血性大腸菌感染症1人
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	つつが虫病1人					

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第36週～第46週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
36	H26.9.1 ~ H26.9.7	1	5	3		1	
37	H26.9.8 ~ H26.9.14	3	3	7	1	1	
38	H26.9.15 ~ H26.9.21		1	4	1	1	
39	H26.9.22 ~ H26.9.28		1	3	1	2	
40	H26.9.29 ~ H26.10.5	1	2	3			1
41	H26.10.6 ~ H26.10.12	2	6	4	1	1	
42	H26.10.13 ~ H26.10.19			3	1	2	
43	H26.10.20 ~ H26.10.26	2	2		2	3	
44	H26.10.27 ~ H26.11.2	1	1	1	1	1	
45	H26.11.3 ~ H26.11.9	3	1	2			1
46	H26.11.10 ~ H26.11.16	1	1				

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2014年第1週～第44週累計)

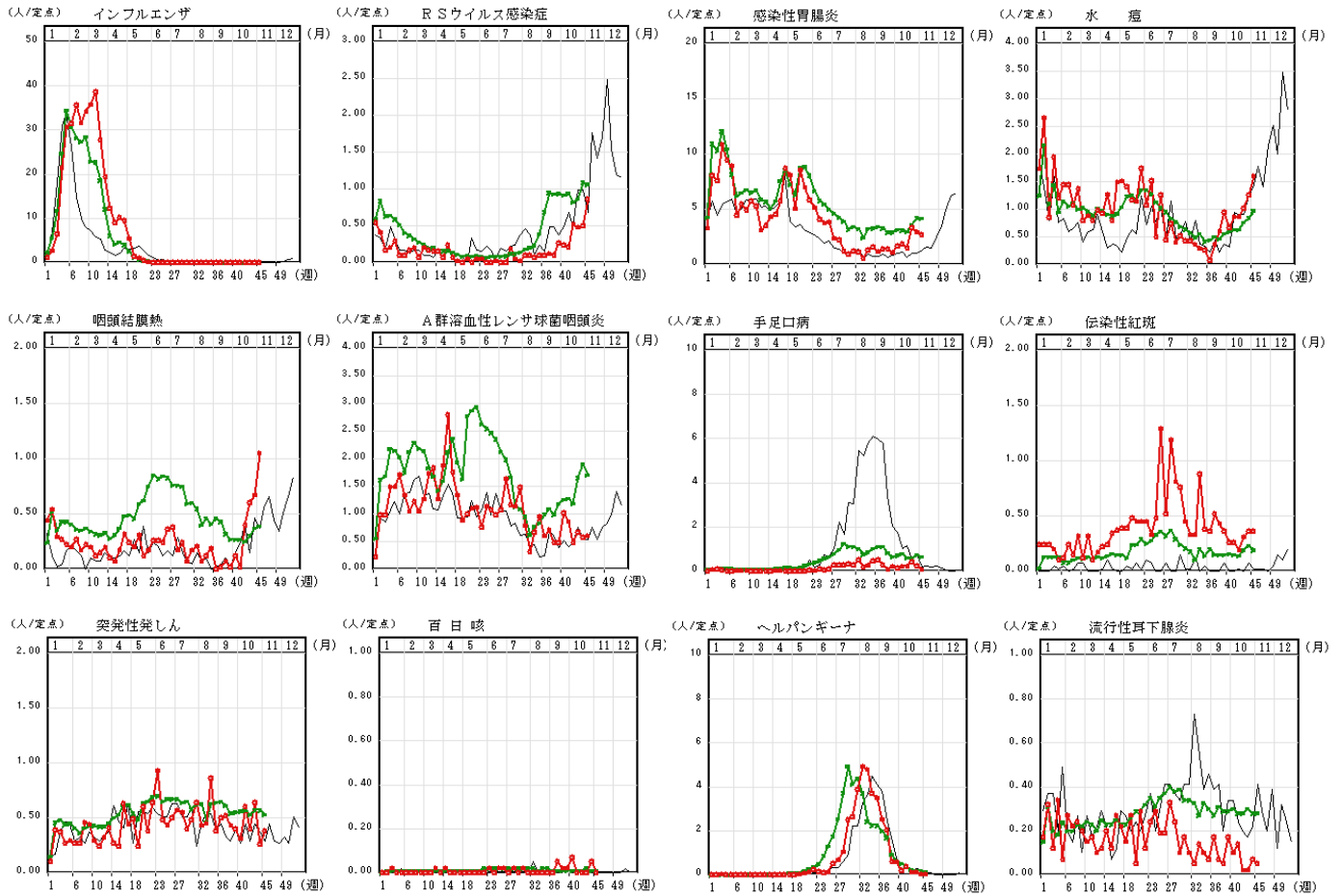
分類	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキゾコックス症	オウム病	回腸熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チンガニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅頭熱	日本脳炎	ブルセラ症	ポリオス症	マラリア	野兔病	ライム病
累積報告数	21837	4	124	3769	49	15	121	418	15	8	1	1	1	57	11	138	319	211	2	10	1	53	1	14
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメモバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	長腸性インフルエンザ菌感染症	長腸性腸炎	長腸性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	水痘(入院例)	腸毒性クリプトコックス症	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	1036	36	940	200	382	86	146	221	1267	55	167	28	1416	9	1377	115	43	304	453	112	63	9	7	

青森県 (2014年第1週～11月18日9:00累計)

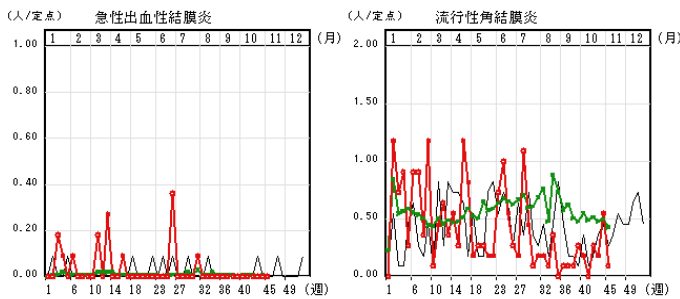
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメモバ赤痢	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルトヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	長腸性インフルエンザ菌感染症	長腸性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	カルバペネム耐性腸内細菌感染症		
累積報告数	334	20	2	3	12	1	3	1	6	10	10	1	1	4	1	1	6	4	1	2		

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第45週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、 ×—×は2014年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第45週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第45週)

